

厚生労働科学研究費補助金【エイズ対策政策研究事業】
HIV 検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究
HIV 検査体制の改善に向けた戦略研究（今村顕史）総合報告書

北陸・南九州での郵送検査実施のための HIV 検査サイト構築と実証研究

研究協力者 ◎生島 嗣（特定非営利活動法人ふれいす東京）
岩橋 恒太（特定非営利活動法人 akta）
本間 隆之（山梨県立大学）
南 留美（国立病院機構九州医療センター）
渡邊 珠代（石川県立中央病院）
彼谷 裕康（富山県立中央病院）
森永 浩次（福井県立病院）

研究要旨

HIV の早期診断には、質の高い検査の拡大と、各地域の実情に応じた検査体制の構築が求められる。特に、HIV のハイリスク層である MSM を対象とした郵送検査の活用や、啓発の届きにくい地域での受検勧奨は、90-90-90（95-95-95）達成に向けた重要な課題である。

そこで、MSM を対象に非接触の郵送検査を実施するため、検査方法の解説、申込み、HIV 情報提供、アンケート調査、相談・サポート等を掲載した専用 Web サイトを構築した。さらに、交通事情や保健所での検査実施状況、匿名性確保の難しさ、MSM 対象のコミュニティセンターが存在しない地域として、北陸（富山・石川・福井）、南九州（大分・宮崎・鹿児島）で研究を行った。

2022 年度の検査では、北陸で申込数 172 件、返送数 130 件、陽性判定 2 件(1.54%)、南九州で申込数 143 件、返送数 107 件、陽性判定 1 件（0.94%）であった。2023 年度は、北陸で申込数 186 件、返送数 136 件、陽性判定 4 件(2.94%)、南九州で申込数 151 件、返送数 102 件、陽性判定 1 件(0.98%)。2024 年度は、北陸で申込数 179 件、返送数 133 件、陽性判定 2 件(1.50%)、南九州で申込数 150 件、返送数 103 件、陽性判定 1 件(0.97%)であった。申込数と返送数の差が約 3 割あることも課題である。事前アンケートでは、陽性時に確認検査を希望する施設として保健所を選択する回答が多く、地域連携における保健所の重要性が示唆された。

本研究では、受検前後の不安に対応するため、支援団体が LINE 等で相談を受け付け、要確認検査となった場合には、地域のエイズ治療拠点病院と連携し、確認検査や相談が可能な体制を整えた。また、MSM 対象の HIV 専門コミュニティセンターがない地域において、SNS や出会い系アプリに加え、広報フライヤーや検査キット配布を、地元のゲイバー、LGBT 団体、地域の出会い系掲示板運営者らの協力を得て実施し、検査の認知度向上につなげた。さらに、自宅以外にも郵便局留めや店舗受取を可能にし、これが新たな広報ルートの形成や、ハイリスク層およびコミュニティ内での検査信頼性の向上に寄与したと考えられる。

A. 研究目的

HIV 感染症の早期治療によって、エイズ発症や長期合併症を防ぐことで患者の予後を改善することだけでなく、二次感染の予防にもつながることが示されたことで、これまで以上に早期診断が求められるようになってきた。しかし、我が国における診断の遅れは、今も深刻な状況が続いており、新規 HIV 感染者の約 3 割がエイズ発症をきっかけに診断されているのが現状である。このことから新たな検査戦略の構築が、我が国の HIV/AIDS 対策の喫緊の課題となっている。

早期診断には、より丁寧でかつ効果的な検査手法を組み合わせた質の高い検査の拡大と、各地域の実情にあった検査体制の構築が求められる。

COVID-19 流行拡大に伴い、COVID-19 対応のため保健所での検査件数が減少し、新規報告数の減少が懸念された。COVID-19 流行下の HIV 検査については、保健所検査の状況・実態把握、ハイリスク層の受検状況の把握を行い、90-90-90 (95-95-95) 達成に向けた新たな検査戦略が求められている。

そこで、HIV のハイリスク層である MSM 対象の非接触の郵送検査を、先行事例を参考に計画した。実施にあたっては、検査実施方法の解説、検査申込み、HIV の情報提供、アンケート調査、相談・サポート等の必要な事柄に対応した専用の Web サイトを構築した。

そして、交通事情や保健所での検査実施状況、匿名性の確保が難しい北陸（202,2021 年度）及び 2022 年度からは南九州（大分県、宮崎県、鹿児島県）を加えて実施し、検証を行うこととした。

B. 研究方法

本研究では、MSM の HIV 予防啓発や陽性者支援を行っている支援団体と協働で郵送検査の実施・普及を目的とし、昨年度の検査時に構築した Web サイトを利用し、対象地域の MSM およびトランスジェンダーに対して郵送検査での HIV 検査を無料匿名で実施する。検査受検前後の相談支援については、支援団体に協力を求め、

陽性判定者に対しては、地域のエイズ治療拠点病院を紹介することとした。

<対象>

- (1) 18 歳以上の MSM 又はトランスジェンダー
- (2) 北陸 3 県、南九州 3 県に居住する者
- (3) 研究説明同意文書を読み、研究参加の意思を示した者

<実施方法>

(1) HIV 郵送検査に関する Web サイトの構築

○Web サイト掲載内容

- 1) 研究概要（対象者、研究期間、研究組織）
- 2) HIV 郵送検査の流れ
検査キットの受け取りは、自宅、郵便局留め、地元のバーでも可能とした。
解説動画も掲載
- 3) HIV および HIV 検査に関する基礎知識
研究代表者（医師）による各 1 分 30 秒程度の分野別解説動画
 - ・ HIV とエイズは違うの？
 - ・ よくある症状は？
 - ・ 定期的な検査が大切
 - ・ 現在の HIV 薬は進化
 - ・ 早期治療は相手の感染させない
 - ・ 費用負担の助成制度がある
- 4) 検査受検の適合性の確認
セクシャリティー、年齢、居住地域の 3 点を確認する。
- 5) 研究説明同意文書への同意
適合性を確認した者に対して、画面上に同意説明文を掲示し、同意のチェックボックスにチェックを入れてもらう。
- 6) 要確認検査となった場合の流れ
- 7) 相談対応先
支援団体の LINE 等の相談先を掲載
- 8) 事前アンケート
同意を得た者に対する検査キット申込み前のアンケート

(2) ゲイコミュニティ等への郵送検査の広報

(3) 検査申込み前の事前アンケート調査

同意を得た者に対して、検査申し込み前に、

属性と HIV、HIV 検査・受検経験および郵送検査に関するアンケート調査を実施し、郵送検査事業者の専用 URL を案内した。

(4)検査キットの配布、検査実施、結果の通知
郵送検査 Web サイトから、郵送検査事業者の郵送検査受検希望者用 Web サイトの専用のページにリンクさせ、希望者を誘導した。同サイトから検査を申し込んだ者に対して、事業者から検査キットが送付された。

キットの送付は郵便局留めにすることも、地域のバーでの受け取りも可能とした。

受検者はキットに同梱された説明書や Web サイトの動画に従い、自らランセットを用いて指先から少量の血液を採り返送した。結果通知は、事業者の Web サイトの本研究受検者専用のページで行った。

結果が陰性であった場合は、その旨と不安などに対応する相談窓口の案内、フィードバック調査への協力依頼を表示した。

結果が陽性であった場合は、その旨と確認検査受検の案内、相談対応窓口の紹介、およびフィードバック調査への協力依頼を表示した。

(5)LINE 等での相談・サポート

受検者の不安や心配に対応するために、支援団体による LINE 等で相談できる相談先を Web サイト、配布フライヤーに提示した。

(6)陽性判定者へのサポート

陽性判定者に対しては、求めに応じて確認検査や相談が受けられるように、地域のエイズ治療拠点病院の協力を得ることとした

(7)調査分析・今後の課題の検討

また、事前に、各県のエイズ治療拠点病院の担当医に実施内容の説明と、陽性判定者への確認検査の実施を依頼した。それから、各県と中核市保健所に、実施についての事前連絡と実施後に報告を行うことを連絡した。

(倫理面への配慮)

本研究においては、外部審査機関において必要な倫理審査を行い、承認を受けている。

C. 研究結果

【2022 年度】

(1)HIV 郵送検査に関する Web サイト

○検査キット申込期間

2022 年 11 月 25 日～2023 年 1 月 11 日

○閲覧回数：245,151 回

ユーザー数：石川県 196、富山県 196

福井県 171

大分県 169、宮崎県 138

鹿児島県 128

google analytics を利用

(2)ゲイコミュニティへの広報、協力体制の構築

出会い系アプリとともに、ゲイコミュニティを対象とした出会い系サイトに検査 Web サイトの紹介と郵送検査が無料匿名で受検できることのパナー広告を掲載した。さらに、協力が得られたゲイバーや LGBT 団体等で、フライヤーの設置や配布を行った。

店舗での検査キット受取を了解したところが、石川県 9 軒、福井県 1 軒、大分県 3 軒、鹿児島県 4 軒だった。

また、以下からの広報協力を得た。

Web：北陸掲示板

LGBT 向けネットニュースサイト

MSM 向け出会い系サイト

(3)事前アンケート

同意を得た者に対して、検査申し込み前に、属性と HIV、HIV 検査・受検経験および郵送検査に関するアンケート調査を実施し、郵送検査事業者の専用 URL を案内した。

北陸：回答者：226 名

○年齢： 20-29 歳 59 名 (26.1%)

30-39 歳 75 名 (33.2%)

40-49 歳 59 名 (26.1%)

50 歳以上 33 名 (14.6%)

○居住地：石川県 84 名 (37.2%)

富山県 74 名 (32.7%)
福井県 56 名 (24.8%)
その他 12 名 (5.3%)

○セクシャリティー

ゲイ 112 名 (70.4%)
バイセクシャル 35 名 (22.0%)

○HIV 検査受検経験

ある 159 名 (70.6%)
なし 67 名 (29.4%)

○チェック 72 の情報入手先

MSM 向け出会い系サイト 172 件 (76.1%)
爆サイ掲示板バナー 23 件 (10.2%)

南九州：回答者：189 名

○年齢： 20-29 歳 48 名 (25.4%)
30-39 歳 62 名 (32.8%)
40-49 歳 42 名 (22.2%)
50 歳以上 37 名 (19.6%)

○居住地：大分県 58 名 (36.7%)
宮崎県 50 名 (26.3%)
鹿児島県 67 名 (35.4%)
その他 14 名 (7.4%)
うち福岡県 12 名 (5.8%)

○セクシャリティー

ゲイ 123 名 (65.4%)
バイセクシャル 50 名 (26.6%)

○HIV 検査受検経験

ある 110 名 (58.2%)
なし 79 名 (41.8%)

○チェック 72 の情報入手先

MSM 向け出会い系サイト 132 件 (69.8%)
爆サイ掲示板バナー 32 件 (16.9%)

(4)検査キットの配布、検査実施、結果の通知
結果が陰性であった場合は、その旨と不安などに対応する相談窓口の案内、フィードバック調査への協力依頼を表示した。

北陸

○検査キット申込数 172 件

石川県 64 件
富山県 53 件
福井県 38 件
その他 17 件

(東京 4、新潟、大阪、兵庫各 3
千葉 2、栃木、岐阜各 1)

○検査キット送付先

自宅 162 件
郵便局留め 6 件
バー/団体経由 4 件

○検体返送数 130 件 (75.6%)

○判定結果 陽性 2 件
陰性 128 件

南九州

○検査キット申込数 143 件

大分県 41 件
宮崎県 34 件
鹿児島県 59 件
その他 9 件

(福岡 6、神奈川 2、愛媛 1)

○検査キット送付先

自宅 127 件
郵便局留め 16 件
バー/団体経由 0 件

○検体返送数 107 件 (75.4%)

○判定結果 陽性 1 件
陰性 77 件
判定不能 (血液量不足) 1 件

(5)陽性判定者へのサポート

陽性判定者に対して、求めに応じて確認検査や相談が受けられるように、地域のエイズ治療拠点病院の協力を得ることとした。

陽性判定者には、支援団体の相談先にアクセスしてもらい、医療機関を紹介する。そして、医療機関への紹介状は研究班代表者名とし、医療機関を紹介した場合は、研究班から医療機関

へ本人から予約が入る旨の連絡を行うこととした。ただし、この流れは陽性判定者が、相談先にアクセスしてくることが必要となる。

今回、北陸での陽性判定者 1 名については支援団体等の LINE 相談にアクセスがあり、医療機関につながったが、北陸 1 名、南九州 1 名は医療機関等への受診確認ができていない状況である。

○相談状況

LINE 相談 15 回

メール相談 3 回

内容：検査について（確認検査を含む）

検査の不安、結果が怖い

HIV/AIDS の治療や医療費等

(6)フィードバックアンケート調査の実施

受検者に対して、今回の郵送検査実施について評価するためのフィードバック調査を、検査 Web サイト上で実施した。

北陸：回答者 62 名

○HIV 検査受検経験

ある 53 名 (85.5%)

なし 9 名 (14.5%)

○これまでの HIV 検査受検場所 (複数回答)

保健所 51 名

(北陸の保健所 28 名 54.9%)

郵送検査 41 名

病院・診療所 24 名

○昨年度の Check72 の受検経験

ある 24 名 (38.7%)

南九州：回答者 61 名

○HIV 検査受検経験

ある 41 名 (67.2%)

なし 20 名 (32.8%)

○これまでの HIV 検査受検場所 (複数回答)

保健所 44 名

(南九州の保健所 30 名 68.1%)

郵送検査 15 名

病院・診療所 5 名

【2023 年度】

(1)HIV 郵送検査に関する Web サイト

○検査キット申込期間

2023 年 10 月 6 日～2023 年 11 月 19 日

○閲覧回数：104,951 回

ユーザー数：石川県 87、富山県 116

福井県 74

大分県 101、宮崎県 148

鹿児島県 191

google analytics(GA 4)を利用

(2)ゲイコミュニティへの広報、協力体制の構築

出会い系アプリとともに、ゲイコミュニティを対象とした出会い系サイトに検査 Web サイトの紹介と郵送検査が無料匿名で受検できることのパナー広告を掲載した。さらに、協力が得られたゲイバーや LGBT 団体等で、フレイヤーの設置や配布を行った。

店舗等での検査キット受取を了解したところが、石川県 11 軒、福井県 1 軒、大分県 3 軒、宮崎県 3 軒、鹿児島県 4 軒だった。

また、以下からの広報協力を得た。

Web：LGBT 向けネットニュースサイト

(3)事前アンケート

同意を得た者に対して、検査申し込み前に、属性と HIV、HIV 検査・受検経験および郵送検査に関するアンケート調査を実施し、郵送検査事業者の専用 URL を案内した。

北陸：回答者：211 (人)

○年齢： 20-29 歳 60 人 (28.4%)

30-39 歳 64 人 (30.3%)

40-49 歳 51 人 (24.2%)

50 歳以上 36 人 (17.1%)

○居住地：石川県 74 人 (35.1%)

富山県 88 人 (41.7%)
福井県 45 人 (21.3%)
その他 4 人 (1.9%)

○セクシャリティー

ゲイ 163 人 (77.3%)
バイセクシャル 37 人 (17.5%)
その他 11 人 (5.2%)

○HIV 検査受検経験

ある 152 人 (73.8%)
なし 54 人 (26.2%)

○チェック 72 の情報入手先 (複数回答)

MSM 向け広告 177 件 (80.5%)
バー/ロコミ 15 件 (6.8%)
バー/知人の SNS 17 件 (7.7%)
その他 11 件 (5.0%)

南九州：回答者：172 人

○年齢： 20-29 歳 45 人 (26.2%)
30-39 歳 56 人 (32.6%)
40-49 歳 42 人 (24.4%)
50 歳以上 29 人 (16.9%)

○居住地：大分県 48 人 (27.9%)
宮崎県 49 人 (28.5%)
鹿児島県 64 人 (37.2%)
その他 11 人 (6.4%)
うち福岡県 6 人

○セクシャリティー

ゲイ 117 人 (68.0%)
バイセクシャル 45 人 (26.2%)
その他 10 人 (5.8%)

○HIV 検査受検経験

ある 104 人 (61.5%)
なし 65 人 (38.5%)

○チェック 72 の情報入手先 (複数回答)

MSM 向け広告 173 件 (93.5%)
バー/ロコミ 6 件 (3.2%)
バー/知人の SNS 3 件 (1.6%)
その他 3 件 (1.6%)

(4)検査キットの配布、検査実施、結果の通知

結果が陰性であった場合は、その旨と不安などに対応する相談窓口の案内を表示した。

北陸

○検査キット申込数 186 件

石川県 63 件 (33.9%)
富山県 69 件 (37.0%)
福井県 35 件 (18.8%)
その他 19 件 (10.2%)

(東京 3、新潟 5、大阪 4、その他 7)

○検査キット送付先 186 件

自宅 172 件 (92.5%)
郵便局留め 9 件 (4.8%)
バー/団体経由 5 件 (2.7%)

○検体返送数 136 件 (73.1%)

○判定結果 陽性 4 件 (2.9%)
陰性 130 件 (95.6%)
判定不能 2 件 (1.5%)
(血液量不足)

南九州

○検査キット申込数 151 件

大分県 43 件 (28.5%)
宮崎県 37 件 (24.5%)
鹿児島県 55 件 (36.4%)
その他 16 件 (10.6%)

(福岡 3、大阪 2、神奈川 2、東京 2、その他 7)

○検査キット送付先 151 件

自宅 132 件 (87.4%)
郵便局留め 19 件 (12.6%)
バー/団体経由 0 件

○検体返送数 102 件 (66.9%)

○判定結果 陽性 1 件 (0.98%)
陰性 101 件 (99.0%)
判定不能 0 件

(5)陽性判定者へのサポート

陽性判定者に対して、求めに応じて確認検査や相談が受けられるように、地域のエイズ治療拠点病院の協力を得ることとした。

陽性判定者には、支援団体の相談先にアクセスしてもらい、医療機関を紹介する。そして、医療機関への紹介状は研究班代表者名とし、医療機関を紹介した場合は、研究班から医療機関へ本人から予約が入る旨の連絡を行うこととした。ただし、この流れは陽性判定者が、相談先にアクセスしてくることが必要となる。

北陸での陽性判定者 1 人、南九州 1 人については支援団体等の LINE 相談にアクセスがあり、医療機関につながったが、北陸 3 人については医療機関等への受診確認ができていない状況である。

○相談状況

LINE 相談 15 回

メール相談 3 回

内容：検査について（確認検査を含む）

検査の不安、結果が怖い

HIV/AIDS の治療や医療費等

【2024 年度】

(1)HIV 郵送検査に関する Web サイト

○検査キット申込期間

2024 年 10 月 22 日～2024 年 12 月 22 日

○表示回数：44,947 回

ユーザー数：石川県 138、富山県 142

福井県 84

大分県 100、宮崎県 168

鹿児島県 252

(2)ゲイコミュニティへの広報、協力体制の構築

出会い系アプリとともに、ゲイコミュニティを対象とした出会い系サイトに検査 Web サイトの紹介と郵送検査が無料匿名で受検できることのバナー広告を掲載した。さらに、協力が得られたゲイバーや LGBT 団体等で、フライヤーの設置や配布を行った。

店舗等での検査キット受取を了解したところが、石川県 10 ヶ所、福井県 1 ヶ所、富山県

1 ヶ所、大分県 4 ヶ所、宮崎県 3 ヶ所、鹿児島県 3 ヶ所だった。

また、以下からの広報協力を得た。

Web：LGBT 向けネットニュースサイト

(3)事前アンケート

同意を得た者に対して、検査申し込み前に、属性と HIV、HIV 検査・受検経験および郵送検査に関するアンケート調査を実施し、郵送検査事業者の専用 URL を案内した。

北陸：回答者：198（人）

○年齢： 20-29 歳 53 人（26.8%）

30-39 歳 48 人（24.2%）

40-49 歳 53 人（26.8%）

50 歳以上 44 人（22.2%）

○居住地：石川県 68 人（34.3%）

富山県 74 人（37.4%）

福井県 51 人（25.8%）

その他 5 人（2.5%）

○セクシャリティー

ゲイ 147 人（74.2%）

バイセクシャル 43 人（21.7%）

異性愛者 0 人（0.0%）

決めたくない 2 人（1.0%）

分からない 6 人（3.0%）

その他 0 人（0.0%）

○HIV 検査受検経験

ある 150 人（75.8%）

なし 48 人（24.2%）

○チェック 72 の情報入手先（複数回答）

MSM 向け広告 182 件（91.9%）

バー/ロコミ 16 件（8.1%）

バー/知人の SNS 8 件（4.0%）

その他 6 件（3.0%）

南九州：回答者：163 人

○年齢： 20-29 歳 39 人（23.9%）

30-39 歳 53 人（32.5%）

40-49 歳 36 人（22.1%）

50 歳以上 35 人 (21.5%)

○居住地：大分県 39 人 (23.9%)

宮崎県 37 人 (22.7%)

鹿児島県 72 人 (44.2%)

その他 15 人 (9.2%)

うち福岡県 11 人、熊本 2 人

○セクシャリティー

ゲイ 114 人 (69.9%)

バイセクシャル 40 人 (24.5%)

異性愛者 1 人 (0.6%)

決めたくない 3 人 (1.8%)

分からない 5 人 (3.1%)

その他 0 人 (0.0%)

○HIV 検査受検経験

ある 115 人 (70.6%)

なし 48 人 (29.4%)

○チェック 72 の情報入手先 (複数回答)

MSM 向け広告 155 件 (95.0%)

バー/ロコミ 5 件 (3.1%)

バー/知人の SNS 1 件 (0.6%)

その他 1 件 (0.6%)

○「もし HIV 陽性の可能性があるとなった場合、確認検査を受けるとしたらどこが良いか？」

<地元の保健所>

北陸 108 人(72.0%) 南九州 75 人(65.2%)

<地元のエイズ治療拠点病院>

北陸 54 人 (36.0%) / 南九州 40 人(34.8%)近隣

<県の保健所>

北陸 19 人 (12.7%) / 南九州 18 人 (15.7%)

<近隣県のエイズ治療拠点病院>

北陸 16 人(10.7%) / 南九州 12 人(10.4%)

<都市部(東京,大阪,福岡など)の保健所>

北陸 11 人(7.3%) / 南九州 7 人(6.1%)

<都市部(東京,大阪,福岡など)のエイズ治療拠点病院>

北陸 10 人(6.7%) / 南九州 10 人(8.7%)

★上記の結果にて、<地元の保健所>で確認検査を受ける希望が最多であった。

(4)検査キットの配布、検査実施、結果の通知
結果が陰性であった場合は、その旨と不安などに対応する相談窓口の案内を表示した。

北陸

○検査キット申込数 179 件

石川県 60 件 (33.5%)

富山県 61 件 (34.1%)

福井県 43 件 (24.0%)

その他 15 件 (8.4%)

(東京 4、千葉 2、神奈川 1、新潟 1、岐阜 1、静岡 1、愛知 1、京都 1、大阪 2、兵庫 1)

○検査キット送付先 179 件

自宅 166 件 (92.7%)

郵便局留め 10 件 (5.6%)

バー/団体経由 3 件 (1.7%)

○検体返送数 135 件 (75.4%)

○判定結果 陽性 2 件 (1.5%)

陰性 132 件 (97.8%)

判定不能 1 件 (0.7%)

(血液量不足)

南九州

○検査キット申込数 150 件

大分県 32 件 (21.3%)

宮崎県 34 件 (22.7%)

鹿児島県 61 件 (40.7%)

その他 23 件 (15.3%)

(福岡 5、熊本 1、愛知 1、山口 1、岡山 1、大阪 2、静岡 1、新潟 1、神奈川 2、東京 6、千葉 2)

○検査キット送付先 150 件

自宅 132 件 (88.0%)

郵便局留め 17 件 (11.3%)

バー/団体経由 1 件 (0.7%)

○検体返送数 105 件 (70.0%)

○判定結果 陽性 1 件 (0.67%)

陰性 103 件 (98.1%)

判定不能 1 件

(5)陽性判定者へのサポート

陽性判定者に対して、求めに応じて確認検査や相談が受けられるように、地域のエイズ治療拠点病院の協力を得ることとした。

陽性判定者には、支援団体の相談先にアクセスしてもらい、医療機関を紹介する。そして、医療機関への紹介状は研究班代表者名とし、医療機関を紹介した場合は、研究班から医療機関へ本人から予約が入る旨の連絡を行うこととした。ただし、この流れは陽性判定者が、相談先にアクセスしてくることが必要となる。

今回、北陸での陽性判定者 0 人、南九州 1 人については支援団体等の LINE 相談にアクセスがあり、医療機関につながったが、北陸 2 人については医療機関等への受診確認ができていない状況である。

○相談状況

LINE 相談 19 回

メール相談 0 回

内容：検査キットについて

検査結果について（確認検査を含む）

検査の不安、結果が怖い

HIV/AIDS の治療や医療費等

D. 考察

HIV のハイリスク層である MSM の HIV 検査率、診断率を上げ、陽性者が治療につながることで新規 HIV 感染者の減少に結びつくことが期待できる。しかし COVID-19 流行下に各保健所の COVID-19 対応が長引き、現在、回復傾向にはあるが、流行前の状況に戻るには時間がかかると推察される。

本研究による検査においては、申込数と返送数の差が各地域とも約 3 割あることも課題であった。地域での検査広報の展開や、検査場所が少なく、交通アクセスの問題、知り合いに会う可能性等の対面検査の問題点が解消されたこと、COVID-19 により人の活動が制限された

が、その影響を受けない検査手法だったことも考えられる。

北陸地区は県を超えてのネットワークが構築されている印象がある。一方、南九州は県ごとに啓発を考える必要がある印象であった。アクセスのきっかけとなる情報は、特に有償で出稿した広報の占める割合が異なっていた。また、口コミ情報の占める割合に差があり、人とのコミュニケーションの話題として HIV 検査がやりとりされている地域の規範にも差がみられた。

2024 年度の研究では、全国を対象に広告を掲載したが、対象外地域からの HIV 検査キットの申し込みは約 10%と比較的低く、地方都市を限定した HIV 検査の啓発は有効であった。

また、事前アンケート調査から、これまで未受検者の割合が、北陸で 24.2%だったが、南九州で 29.4%と、郵送検査が検査受検のハードルを下げていると考えられた。郵送検査は、いつでもどこでも受けられる簡便性があり、かつ非対面のため、匿名性が確保できる。

本研究では、受検前後の不安や心配に対して、支援団体による LINE 等による相談ができ、陽性判定となった場合は、確認検査や相談が受けられるよう、北陸、南九州の地域のエイズ治療拠点病院につなげる体制をつくった。しかし、「要確認結果」となっても相談支援に繋がらない例もあった。また、LINE 相談の資料をキットに添付し、結果通知画面にもバナーを貼るなど、相談支援も強化したが、結果通知から通院までの支援には課題が見られた。

今後の受診支援の方向性を探るために、2024 年度の事前アンケートに、「もし HIV 陽性の可能性があるとなった場合、確認検査を受けるとしたらどこが良いか？」という質問を追加した。その結果、地元の保健所：北陸：72.0%、南九州：65.2%と最も多く、地元のエイズ治療拠点病院：北陸：36.0%、南九州：34.8%との回答で、地元の拠点病院で確認検査を受けたいという回答であった。郵送検査で陽性と判明した場合に確認検査を受けたい施設として、保健所を選択する回答が多く

あったことから、今後の地域連携においても保健所が重要な受検施設となる可能性が示唆された。

また、MSM 対象の HIV に特化したコミュニティセンターが存在しない地域において、本検査を周知するために、SNS や出会い系アプリのみではなく、広報フライヤーや検査キット配布等を、地元のゲイバーや LGBT 団体等・地域の出会い系掲示板の運営者などに協力してもらうことで検査の認知が広がったといえる。これは、郵送検査実施の広報活動の新たなルートづくりにつながるとともに、ハイリスク層やコミュニティから、本検査の信頼性を得ることができたものと考ええる。

今後は、検査キット申込数と検体返送数の差（各地域の約 3 割が未返送）、陽性判定者が出た場合の確実なフォロー方法等について、十分に検証し、より効果的な実施方法を検討していく必要がある。エントリー時に、LINE 登録、メールアドレスなどの収集など、何らかの一步進んだ対策が求められる。

そして、他の地域においても、この COVID-19 流行下のような社会環境の変化にも対応できる効果的な検査モデルの構築を進めていく。さらに、COVID-19 対応のため、本研究に参加できなかった保健所との連携も図っていく。

E. 結論

HIV 感染のハイリスク層である MSM の HIV

検査受検をさらに進めるためには、既存の保健所検査やコミュニティセンターを利用した郵送検査などとともに、コミュニティセンターが不在の地域においても、ハイリスク層の利便性や十分にサポートできる体制を構築することが必要である。そして、郵送検査を含めた複数の検査手法の中から、各地域の特徴やマンパワーを考慮して、その地域に適した検査を選択できるように、受検勧奨モデルを構築していくことが重要であると考ええる。

F. 研究発表

1.学会発表

- 1) 今村顕史、生島嗣 岩橋恒太、本間隆之、渡邊珠代、彼谷裕康、鄭瑞雄、堅多敦子 郵送 HIV 検査実施のための web サイトの開発と北陸における実証研究 日本エイズ学会 2021 年、東京

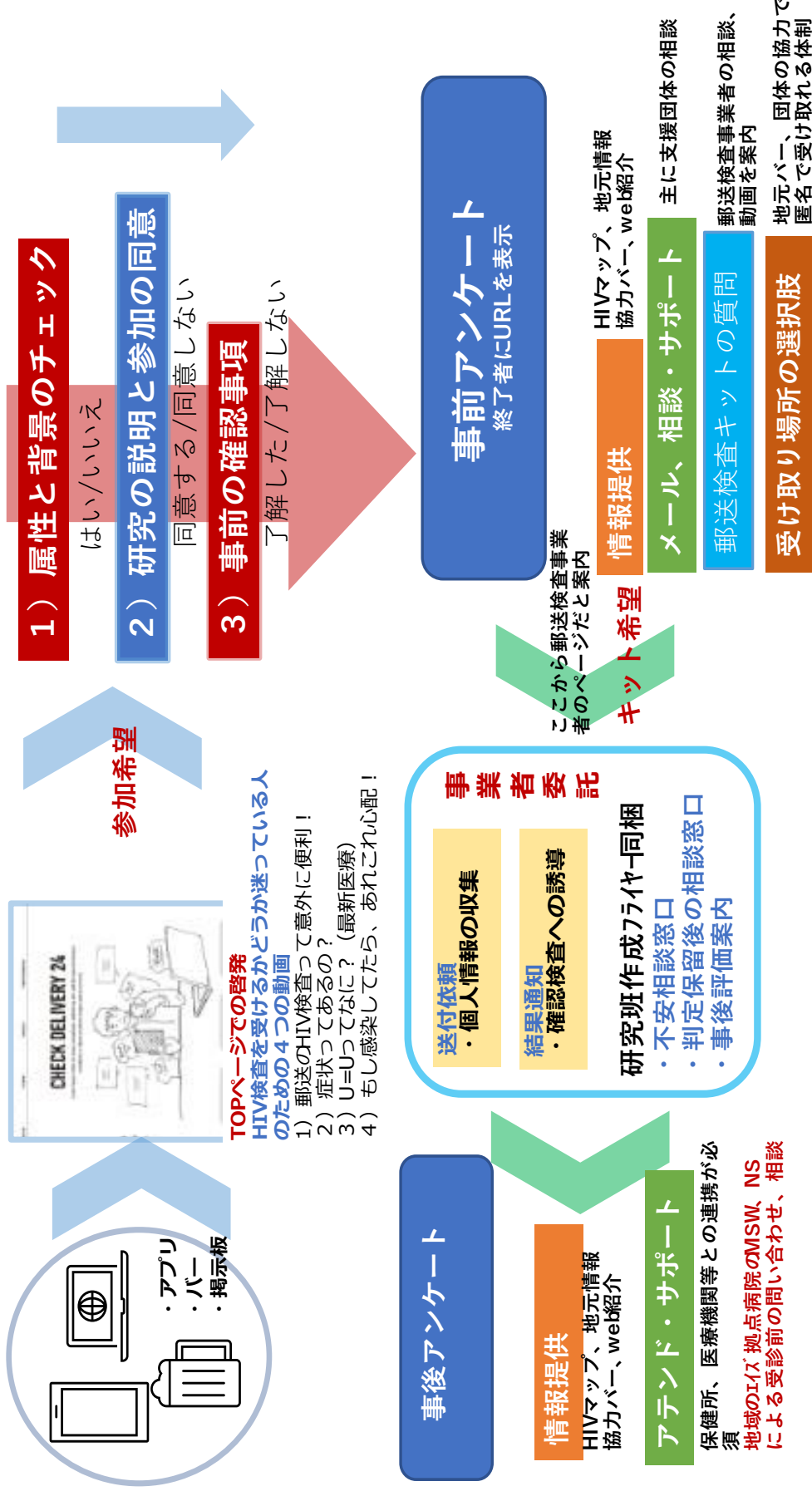
G. 知的所有権の取得状況

- 1.特許取得 なし
- 2.実用新案登録 なし

(参考文献)

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「MSM に対する有効な HIV 検査提供とハイリスク層への介入方法の開発に関する研究」平成 31 年度研究報告書：研究代表者 金子典代（名古屋市立大学）

郵送検査の流れ



北陸(富山・石川・福井)&九州(大分・宮崎・鹿児島) 在住の方限定

郵送HIV検査キット

12月8日まで無料配布中!

ゲイバレするかも?

最寄りのクリニックや病院に中々行きづらいと感じている方の多い、北陸3県(富山県・石川県・福井県)、九州3県(大分・宮崎・鹿児島)に住むゲイ男性と性行為を行う人々を対象にした、郵送のHIV検査キットを無料で配布するキャンペーンを行っています。ぜひこの機会に、自身の健康と向き合ってみましょう!

アンケート&お申し込み後、郵送のHIV検査キットを72時間以内にご指定の場所にお送りします。ご自宅、郵便局留め、ゲイバー、協力団体などであんしんして受け取ることができます。

受付: 2024年10月18日(金)~2024年12月8日(日)
各地域先着: 200名様



check72.jp

check72

無料・匿名の郵送HIV検査申し込みサイト

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業

「HIV検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究」研究代表者: 今村 顕史(東京都立駒込病院 感染症センター長)

協力(順不同)/福岡コミュニティセンターHACO/金沢にじのま/レインボービュー宮崎/ダイバーシティラウンジ富山/レインボー金沢/レインボーハート富山/金沢レインボープライド/メンバーズCafe&Barジーエス/菜の花助産院/9monsters/爆サイ.com/k@toom/めんず☆げっちゅう/ヒロシデザイン

あんしん受取方法

- ご自宅や郵便局留めでの受け取りが可能です。
※郵便局留めは引き取り時にIDの提示が必要になります。
- 裏面に記載しているバーなどでも受け取りが可能です。



- 郵送する検査キットは、外から見て検査キットであることがわからない白い梱包になっています。

- ✓ 封筒の大きさ: 角2変形 (33×19センチ/おおよそA4を細長くした形)
封筒の表記: 株式会社アルパコーポレーション/「上乗郵送」表示あり/「親展」表示無し

ウェブで結果確認

- 採血した検査キットをポストに投函後、2~3日でウェブにて検査結果が確認できるので、誰にも知られることはありません。

- 無料
- 匿名OK
- 送付先指定OK



郵送HIV検査キットの「受け取り可能」な協力店舗・団体

>>>行ったことがなくてもOK!

>>>ドリンクを注文しなくてもOK!

—北陸地域（富山・石川・福井）

金沢にじのま 〒920-0985 石川県金沢市池田町三番丁21-2
area RAINBOW 〒920-0981 石川県金沢市片町2-22-13 サイガフスカルビル2F
Grandpa（グランパ） 〒920-0981 石川県金沢市片町1-8-24 ホクリク犀川ビル201
こうじ 〒920-0981 石川県金沢市片町2-22-15 片町犀成ビル 3F
真珠貝 〒920-0981 石川県金沢市片町1-8-7 のぎきビル3F
スナック峠 〒920-0981 石川県金沢市片町2-31-40 タカオビル2F
POWERBOMB 〒920-0981 石川県金沢市片町2-23-12 中央コアビル2F
POTATO（ポテト） 〒920-0981 石川県金沢市片町2-12-12
RMX（リミックス） 〒920-0981 石川県金沢市片町2-30-2 ペントハウス2F
まき助産院 〒924-0072 石川県白山市千代野西3-3-10
Bar ぶにぶに 〒910-0023 福井県福井市順化1-17-23 サンロイヤル片町ビル301
BAR GOGO 〒933-0023 富山県高岡市末広町36-1 YSB15ビル2F

—九州地域（大分・宮崎・鹿児島）

おなかまのアジト 〒870-0035 大分県大分市中央町3-6-35 紅蘭亭ビル2F
BAR calm 〒870-0034 大分県大分市都町2-2-28 第5開世ビル4-C
Bar ZeRo 〒874-0944 大分県別府市元町11-12 関屋ビル2F
60フィート 〒870-0035 大分県大分市中央町3-5-23 測野ビル1F
ARASHI 〒880-0001 宮崎県宮崎市橋通西3-4-4 第2ワタナベビル3F
スナック5 〒880-0002 宮崎県宮崎市中央通8-9 西エビスビル4F
Bar Ciel 〒880-0002 宮崎県宮崎市中央通2-8 三笠ビル4F奥
子熊 〒892-0845 鹿児島県鹿児島市樋之口町10-18 角玉別館2F
天空（そら） 〒890-0053 鹿児島県鹿児島市中央町35-1 太陽ビル2F
Lolli Pop（ロリポップ） 〒892-0844 鹿児島県鹿児島市山之口町8-34 ウノキビル4F



「check72@サポート」をフォローしよう!

- 健康に役立つ情報が配信される
- Q&Aを読むことができる!
- HIVに関するサポート&相談が利用できる!
- エイズ拠点病院の紹介がしてもらえる



いつでも
あんしん
サポート

金沢にじのま

堅町商店街そばに立つ築100年以上の金沢町家をリノベーションした、LGBTQ+や多様な人たちが集う居場所。また、多様性とクリエイティブが重なり合うことで、新しい価値や文化をうむ場所でもあります。ギャラリーやシェアキッチンやハブに、アートや食を楽しむことができ、ワークショップ等を行うための多目的スペースも。2021年1月から月1回続けてきた「にじのまカフェ」が場所を移し常設に。株式会社ミッションズが経営し、プライドパレードや教育事業を行う金沢レインボープライドが運営サポート。HIV関連図書コーナーと専門スタッフも。

(一般社団法人 金沢レインボープライド)
<https://www.kanazawarainbowpride.com>



かなざわ
にじのま
KANAZAWA NIH-NO-MA

福岡コミュニティセンター HACO

セクシュアルマイノリティ当事者が自由に利用できる福岡市博多区にあるオープンスペースです。主に福岡県内のゲイ、バイセクシュアル男性に向けてHIV/エイズをはじめとした性感染症の予防啓発や、保健所が実施する検査情報の発信、また、セクシュアルマイノリティ当事者の居場所づくりをおこなっています。性感染症に関する資料を見たり、セクシュアルマイノリティ当事者団体について調べたりすることができます。

<http://loveactf.jp>

